

CREATIVE  
PLATFORM

SPECIAL INTERVIEW

寺井翔菜

SHOMA TERAJ

## CREATIVE PLATFORM CAFÉ vol.9

## プロモーションを考える

## — 商品・サービスの情報をどう顧客に伝えるか

全国のクリエイティブを活用した産業創出に関わる方々をゲストに迎え、定期的で開催するトーク&交流イベント『CREATIVE PLATFORM CAFÉ』。第9回目となる今回は、(株)ロフトワーク京都ランチ事業責任者・寺井翔菜<sup>てらいしょうま</sup>さんをゲストにお迎えし、「プロモーション」について考えます。

プロモーションとは、「商品やサービスの存在を知ってもらい、興味・関心を持ってもらう」そして「購入するという行動に繋げる」ための、企業と顧客のコミュニケーションです。具体的には、さまざまなメディアでの広告、販売員による販促やパブリシティ活動、さらにはWebサイトやSNSなど、今やその手法は多岐に渡ります。効果的なプロモーションとは一体何か？ プロモーションで誰に何を伝えたいのか？ そのためにどのようなツールを使うのが最適なのか？ 企業や大学のWebディレクション、地域の魅力発信プロジェクトのプロデュースなど、情報発信に関する多様な実績を持つ寺井さんに、プロモーションの基本的な考え方から実践的な手法まで、お話を伺います。



[イベント詳細] ゲスト = 寺井翔菜(株式会社ロフトワーク 京都ランチ事業責任者)  
モデレーター = 山出淳也(CREATIVE PLATFORM OITA 編集長)  
開催日 = 2018年2月9日(金)  
時間 = 16:30~18:00(開場16:00)  
会場 = 大分銀行 宗麟館 2F 多目的ホール(大分県大分市東大道1丁目9-1)  
参加費 = 無料  
定員 = 30名程度  
主催 = CREATIVE PLATFORM OITA

[交流会] 時間 = 18:30~20:30  
参加費 = 3,000円(税込)  
※事前申込みが必要です。

## SPECIAL INTERVIEW 12

# 寺井翔栄

株式会社 ロフトワーク 京都ランチ事業責任者

今回は、企業や大学のWebディレクション、地域の魅力発信プロジェクトのプロデュースなど、情報発信に関する多様な実績を持つ株式会社 ロフトワークの寺井さんにお話を伺いました。幅広い分野のプロジェクトマネジメントとクリエイティブディレクションを担当してきた寺井さんに、これまでの事例も交えてプロモーションの考え方や手法についてお聞かせいただきました。

聞き手：CREATIVE PLATFORM OITA (以下CPO)



**CPO:** 寺井さんはロフトワークに入社して何年目になるのでしょうか？

**寺井:** 今年で10年目です。入社以来、ロフトワークが手がける代表的なプロジェクトの多くに関わってきました。

**CPO:** 昨年京都ランチに異動にされましたが、京都ではどのようなことをしているのでしょうか？

**寺井:** 関西のクライアントも多かったのですが、2011年から京都オフィスを開設していましたが、2015年にオフィスを移転しました。築120年の民家を建築家の佐野文彦さんと一緒にリノベーションした3階建ての空間 MTRL KYOTO (マテリアルキョウト) です。MTRLは私たちが運営する「素材」をテーマにしたクリエイターのためのコワーキングスペースで、館内にはものづくりのた

めのユニークな素材が国内外から収集／展示／提供されています。ロフトワーク京都のオフィスはこの MTRL KYOTO の3階にあります。素材は渋谷と香港にもあるのですが、京都がそのリーディング施設となります。役割としては、国内外のクリエイターと素材を繋ぐためのハブのようなものです。京都は海外の人が憧れる場所でもあるし、伝統的なものや文化的なものも多く、中小企業などものづくりに関わる会



社も多くあるので、非常にいい拠点なんです。そこで、メーカーとクリエイターだけではうまく進行しないプロジェクトをディレクションやマネジメントしていくのが僕らの仕事です。

**CPO:** 立教大学のWebサイトのリニューアルに関わっていらっしゃいましたが、こちらはどのような経緯でオーダーがあったのでしょうか？

**寺井:** Webサイトをリニューアルしたいというお話でした。10年くらい前に作ったものをそのまま運用していたので、システムや構造も老朽化していましたし、モバイルからのアクセスにも対応できていなくて、アップデートする必要があったんです。そこで、大学のWebサイトが何のためにあるのかを考えることから始め、まずは3ヶ月間ほど時間をかけてリサーチをしました。

**CPO:** それはリサーチにかける時間としては一般的な長さですか？

**寺井:** そうですね。本当に必要な情報って、いくらクライアントにヒアリングしても出てこないんです。やっぱり現場で何が起きているのかをリサーチしないと、本質的なところが見えないんですよ。

**CPO:** リサーチでは具体的にはどのような作業をおこなったのでしょうか？

**寺井:** 学内でのインタビューや、資料の分析、トレンドリサーチなどをしました。あと、学内でいろんな人の後ろについて歩くフィールドワークをしました。要は学内に

いる人たちの行動をチェックして、実際にその場で何が起きているのかを調べたかったです。

**CPO:** そうしたプロセスを省きたがるクライアントもいると思いますが、その場合はどうするのでしょうか？

**寺井:** 許された時間のなかで最も効果の高いリサーチをおこなうようにしています。なかでも、フィールドワークは最短で現場のニーズを捉えることができる効果的な手法なんですよ。

リサーチの結果、学校見学に来た人が目的もなく学内をさまよって歩く姿が多く見られたことから、せっかく多くの人が関心を持ち来訪してくれているにも関わらず、表面的な解説しかできておらず、大学での学びの内容をより深く知り体験する機会が欠けていることに気づきました。そこで大学選びの質を向上させるためのコンテンツがWebサイトにも必要だと考えました。ただし課題の解決にはWebサイトだけではなく、共通した理念をリアルな活動でも展開することが重要です。その点については、



立教大学 <http://www.rikkyo.ac.jp>

当初から具体的な活動のアイデアとともに提案をしています。

**CPO:** 石垣島の観光プロモーションのプロジェクトにも関わっていらっしゃいますね。

**寺井:** はい。このプロジェクトでは「第3者の目線でどんな価値が発見されるのか」「それを可視化する事で地元の人の意識はどう変わるのか」が大きなテーマでした。ずっとそこにいると、魅力や面白さがわからなくなってしまうんですね。

『ISHIGAKI NOW』のWebサイトをローンチすると、クライアントである役所の人も「これが石垣島？」っていうくらい、新しい目線での発信がたくさんありました。

**CPO:** 完成後にクライアントがどれだけ活用できるのかということも課題になるのではないのでしょうか？

**寺井:** 企業も同じですが、プロモーションって個人的な思いから始まっていないと届かないし続かないんです。このプロジェクトは行政からの委託だったので、事業が終了してしまったり、担当者が変わってしまったりすると手の打ちようがなくなってしまいます。それも見越して、更新が止まっても3年間は価値が持続するように意識して作りました。具体的にはInstagramを導入し、ビジュアルのクオリティを統一するためのフォーマットを作ったり、編集のルールを整備しました。



『ISHIGAKI NOW』 <http://usioproject.com/ishigakinow>

**CPO:** 最新の情報であること以外の価値を持たせたということですね。

**寺井:** ええ。何がバリューなのか、それによってどんな最高の瞬間や体験が得られるのか。その原点は、作り手なり売り手なりの原体験にあるんです。その思いやこだわりが強みになり、共感を集めるんです。また、誰に伝えたいのかを具体的にイメージすることも重要です。

**CPO:** そのためにも、フィールドワークやリサーチが重要なんですね。

最後に、技術や手法がどんどん新しくなっていますが、どのように発信のツールを選んでいけばいいのでしょうか？

**寺井:** 常に新しいツールを追い続ける必要はないと思います。特にSNSなどは、失敗してもいいから気軽に始めてみたいと思います。新しい技術や手法って、広報や情報の拡散を増幅するものでしかないと思うんです。だからどのツールを使うかよりも、日々の活動なかで伝えるべき価値は何かを見定めることのほうが大事なんだと思います。

寺井翔菜 (株式会社 ロフトワーク 京都ブランチャ事業責任者)

2008年ロフトワークへ入社。石垣島の魅力を世界のクリエイターと再発見する『USIO Design Project / ISHIGAKI NOW』や、大学Webサイトの存在意義を問い直すことをテーマにした立教大学公式Webサイトのリニューアル、100年先に向けた100のプロジェクトを生み出す実験区『100BANCHA』の立ち上げなど、幅広い分野のプロジェクトマネジメントとクリエイティブディレクションを担当。2017年より『Loftwork Kyoto Branch』の事業責任者に就任。

## CREATIVE PLATFORM OITA 報告会

本事業を通じて生まれた約20件の協働事業をご紹介します。展示やトークイベントを開催します。大分県におけるクリエイティブを活用した産業創出の事例と、その過程や成果が一堂に会するこの機会に、ぜひご来場ください。

日 時 = 2018年3月2日(金) ~ 4日(日) 11:00 ~ 18:00  
※最終日は15:00まで(※時間は変更となる場合がございます)  
会 場 = iichiko 総合文化センター アトリウムプラザ  
入場料 = 無料

CREATIVE  
PLATFORM  
CAFÉ  
vol.10

「カリスマバイヤーが語る！  
売れる商品とは何か」

山田 遊  
株式会社メソッド 代表取締役

3月3日(土) 17:00 ~ 18:00

詳細な情報は公式Webサイトをご覧ください



# CREATIVE PLATFORM CAFÉ vol.8 開催レポート

11月23日に別府市の不老泉集会室で『CREATIVE PLATFORM CAFÉ Vol.8』を開催しました。今回は、大分県内を拠点に活動するクリエイティブ人材の方々をご紹介します特別編。グラフィックデザイン、Webデザイン、建築・空間デザイン、映像制作など、幅広い実績を持った8名をお招きしました。皆さんに、これまでのご自身の活動や理念をプレゼンしていただき、それぞれの特性や強みを知る機会となりました。全員に共通していたのはヒアリングやリサーチを丁寧におこない、現状の課題に対して本当にすべきことを考えることに最も時間をかけているということでした。そこでとり着いた1つの答えに対して、活動ジャンルの異なる8名がそれぞれの特性や強みを活かしてアウトプットの形を見出しています。デザインやプロモーションを誰に依頼すればいいのかわからないとお困りの方も多いかと思いますが、県内外にさまざまなクリエイティブ人材がいらっしやるので、ぜひCREATIVE PLATFORM OITAをご活用ください。



交流会では県内企業が商品を持ち寄り、大いに賑わいました

## 市江竜太

イジゲン株式会社 執行役員  
Webプログラマー

企業のWeb制作やシステム、アプリの開発を手がけるイジゲン株式会社は、新しい技術やシステムを積極的に取り入れた新たな価値を提案し、これまでになかったサービスを開発できる。



## 光浦高史

DABURA.m 株式会社 代表取締役  
一級建築士

建築設計、リノベーション、地域デザインに関わる活動を展開し地域社会への貢献を目指す。関わる人や場所、その空間の用途など、その案件ならではの固有性を引き出し、形にするのが得意な建築士。



## 神鳥兼孝

株式会社 green circle 代表取締役  
クリエイティブディレクター・CMディレクター

事業や商品の本質を的確に捉えるためのオリエンテーションや対話に力を入れ、動画コンテンツの制作やグラフィックデザイン、Web制作、コンサルティングなど幅広い活動を展開する。



## 櫻井暢子

unid 株式会社 代表取締役  
アートディレクター・デザイナー・コピーライター

ブランディングやロゴマークの制作、コピーライティングなどを軸にした広告デザイン会社unidは、クライアントのアイデンティティやビジョンに長期的に関わっているデザインを目指している。



## 福田まや

星庭 代表  
アートディレクター・グラフィックデザイナー

リサーチやヒアリングのなかからアイデアを発見し、そこに感性的な価値を加えることを得意とするアートディレクター。商品の社会的な価値や他商品との違いを見据えながらブランディングする。



## 古庄優子

KASUGA Design Room 代表  
グラフィックデザイナー

主に印刷物やWebサイトの制作を手がけるグラフィックデザイナー。デザインとは「人と社会との関わりの中にあるもの」と言い、県内作家のポートフォリオサイト『ART STORAGE』を運営している。



## 越田剛史

株式会社 Design totte 代表取締役  
クリエイティブディレクター・デザイナー

デザイン＝「気づく」「考える」「作る」「広める」の4つのプロセスだと言い、グラフィック、Web制作にとどまらず、商品やサービスの仕組みづくりに踏み込んだデザインで「結果」を追求している。



## 森 海里

イラストレーター・グラフィックデザイナー

ターゲットや媒体に応じて多様なタッチで描き分けられることが強みのイラストレーター。小規模事業者や中小企業を対象にした『よろず支援拠点』の相談員としてデザイン部門も担当する。



## CREATIVE PLATFORM NEWS とは

大分県ではクリエイティブな手法による新たな産業創出を目指し「クリエイティブ・プラットフォーム構築事業」を実施しています。本事業は、大分県内の企業が有する技術やノウハウに、クリエイティブな発想や考え方を組み入れることによって、競争力の高い商品・サービスの開発や、新規マーケットの創出に繋げることを目的としています。

本紙『CREATIVE PLATFORM NEWS』では、本事業の最新の情報と、全国各地でクリ

イティブティを活用した事業に取り組む方々へのスペシャルインタビューをお届けいたします。また、本紙でご紹介する方々をゲストに迎えるトークイベントや交流会『CREATIVE PLATFORM CAFÉ』も定期的に開催しています。大分のクリエイティブを刺激する情報の発信・共有の場となりますよう、毎回異なるテーマや演出を予定しております。ぜひお誘い合わせのうえご参加ください。

本事業の最新情報は、公式Webサイト『CR

EATIVE PLATFORM OITA』およびFacebook、twitterからもご覧いただけます。また、メールマガジンにご登録いただくと、イベント情報の先行告知や先行予約などの特典のほか、事業の最新情報や会員だけが読めるスペシャルコラムなどを無料でお届けいたします。

※本紙は、交流イベント『CREATIVE PLATFORM CAFÉ』開催時に参加者に配布しています。

メールマガジンへのご登録は公式Webサイトから <http://creativeoita.jp>



本紙掲載情報およびイベント参加のお申し込み・お問い合わせ NPO法人 BEPPU PROJECT (担当 川野・横山) 営業時間: 月～金 9:00-18:00 tel: 0977-22-3560

発行・編集 発行元: 特定非営利活動法人 BEPPU PROJECT 〒874-0933 大分県別府市野口元町2-35 菅建材ビル2階 url: <http://www.beppuproject.com>  
発行人: 山出淳也 (特定非営利活動法人 BEPPU PROJECT 代表理事)

\*本紙は『平成29年度クリエイティブ・プラットフォーム構築事業』の最新情報をお伝えする広報紙です。本事業はNPO法人 BEPPU PROJECT が大分県から業務委託を受けて企画・運営しております。